

第2回 大平中学校区 学校の未来を考える会 を開催しました

3月13日（水）に、学識経験者、地域、保護者、学校の代表者等13人で構成された「大平中学校区 学校の未来を考える会」を開催しました。今回の会議では第1回会議で委員の皆様から質問があった小中一貫学校の実態などの内容について、教育委員会から説明しました。また、大平小・中学校の現状について、校長からお話していただき質疑や意見交換を行いました。

ホームページに当日の資料や議事録の概要を掲載していますので、裏面の二次元コードから是非ご覧ください。



現在の大平小・大平中学校の現状について

小口校長(大平小)、黒石校長(大平中)に小規模校の現状をお話していただきました。

メリット

【学習面】

- ・個々に応じたきめ細やかな学習指導ができる。
- ・学習スペース（運動場や特別教室）や教具などを比較的自由に使うことができる。

【集団生活・人間関係】

- ・ほとんど知っている友人関係のためお互いの思いをくみ取って行動できる。
- ・縦のつながりが強く異学年でも仲が良い。
- ・行事や大会などで、一人一人が活躍する機会を設けることができる。

【学校経営・運営】

- ・教職員が少人数のため共通理解がしやすく臨機応変な対応ができる。
- ・家庭や地域の支援、協力が得やすく、地域に根ざした教育を推進しやすい。

デメリット

【学習面】

- ・多様な考え方に触れる機会が少ない。
- ・役割が固定化しやすいため、どの子も様々な役割を経験できるように教員の配慮が必要である。

【集団生活・人間関係】

- ・幼い頃から人間関係が構築されていて固定化しやすい。
- ・人間関係が崩れると修復が難しい。
- ・幅広い人間関係を作ることが難しく、人間関係づくりのスキルを磨きにくい。

【学校経営・運営】

- ・少人数のため一人の教員が担当する業務が多く、多忙化につながる。
- ・出張の教員がいると学級で授業で行う教員が不足してしまう。

委員の皆様のご意見等



小中一貫学校の説明と校長先生方のお話を聞いた後、意見交換を行いました。

【学習面】

- 各教科の授業は、専門の先生に行ってもらい、その教科の楽しさや学ぶおもしろさを教えてもらえるとよい。

静岡小中一貫学校の場合

段階的な教科担任制					
初志部(小1~小4)		立志部(小5~中1)		大志部(中2~中3)	
1・2年	3・4年	5・6年	7年	8年	9年
教科担任による授業の割合			教科担任制		
25%	40%	60~80%	100%		

第2回会議資料 参考資料(一貫校概要)より抜粋

【集団生活・人間関係】

- 子供の人間関係は、単学級のため、一度失敗すると修復が難しいということは確かにあり、保護者同士の関係にも影響する。

【学校経営・運営】

- 教員が出張などで不在だと体制が手薄になっていることは感じている。一方で、先生方が子供一人一人を丁寧に見てくださっていることも分かり、ありがたい。
- 小規模校ということで、コロナ禍であっても先生方の工夫により一泊であっても修学旅行をさせてくれるなど、柔軟に対応してくれたのはありがたかった。
- 学校経営の現状を聞いて、昔とかなり変わっていると知り驚いた。少人数の中で模索しながら学校運営していると分かった。

【その他】

- 今後、学校の在り方についてこの会で協議していくと思うが、成功することをイメージできる方向性を選択していくことが大事ではないかと思う。
- 小・中学校の在り方についての検討を進めるにあたり、令和7年度から認定こども園となる大平幼稚園と大平保育所のことも併せて考えていきたい。
- 大平地区の特色として、沼津市内で唯一、公立の幼保小中が1つずつある。それをうまくいかしていきたい。
- 大平の地域、子供どちらにとっても小規模がいいのではないかと思う。一人一人に寄り添う教育をしてほしい。
- 地域としては、大平地区の子供は大平地区で育てる、という意識で活動している。

令和6年度の第1回会議の日程は
決まり次第お知らせします。



← ホームページ
沼津市立小・中学校の適正
規模・適正配置について

発行

令和6年4月発行
沼津市教育委員会 教育企画課
沼津市御幸町16-1
電話：055-934-4821
FAX：055-931-8977
E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

